



ニュースレター

# SDM NEWS



慶應SDM × iTiDコンサルティング『社員がいきいきと成果を出す企業・組織デザイン』セミナー：講演の様子

8

2013年 月号

## 行事予定

2013年10月6日(日)  
 慶應SDM公開講座 白熱対談「公共哲学×システムデザイン・マネジメント コミュニタリアニズムと協創」  
 @日吉キャンパス協生館  
<http://www.sdm.keio.ac.jp/2013/09/03-102946.html>  
 要事前登録 無料

2013年10月8日(火)  
 慶應SDM公開講座「脳とシステムデザイン(仮題)」  
 @日吉キャンパス協生館  
<http://www.sdm.keio.ac.jp/2013/09/09-133005.html>  
 要事前登録 無料

2013年10月23日(水)  
 慶應SDM公開講座「新しい世界のコンセプトを創造する!～インフォメーションテクノロジーからインスピレーションテクノロジーの時代へ」  
 @日吉キャンパス協生館  
<http://www.sdm.keio.ac.jp/2013/08/28-142714.html>  
 要事前登録 無料

2013年10月26日(土)  
 SDM研究科5周年イベント(特別講演会ほか)  
 @日吉キャンパス協生館  
<http://www.sdm.keio.ac.jp/2013/10/26-122508.html>  
 要事前登録 無料

2013年11月5日(火)～11月7日(木)  
 11月25日(月)～11月27日(水)  
 第5回 プロジェクト・マネジャー能力強化研修  
 @日吉キャンパス協生館  
<http://www.sdm.keio.ac.jp/2013/11/05-132046.html>  
 要事前登録 有料

2013年11月8日(金)  
 慶應SDM公開講座「空海とソーシャルデザイン」  
 @日吉キャンパス協生館  
<http://www.sdm.keio.ac.jp/2013/08/28-173441.html>  
 要事前登録 無料

2013年11月29日(金)  
 慶應SDM公開講座「新たな時代の新たなものがたり エコロジー(宇宙船地球号、ガイア)を超えて・・・。コスモロジー社会とはいかなる世界なのか・・・。」  
 @日吉キャンパス協生館  
<http://www.sdm.keio.ac.jp/2013/08/28-175326.html>  
 要事前登録 無料

慶應義塾大学イベントカレンダーをご利用ください。

[http://www.keio.ac.jp/ia/event/201308/201308\\_index.html](http://www.keio.ac.jp/ia/event/201308/201308_index.html)

通算57号 2013年8月発行



専任教員からのメッセージ

## チャレンジを続ける大学院～慶應SDM

猛暑日が続いたこの夏も、そろそろ秋の訪れを感じるようになってきました。私たち慶應SDMは、この夏も暑さにめげずに様々な活動を精力的に実施し、今月もここに成果をご報告できることをうれしく思います。いつも我々の活動を支えてくださっている皆様方に、心より感謝申し上げます。

さて、変化が激しく複雑化する現代社会にあつて、日本は自然災害や少子高齢化、外交問題など、様々な問題に直面しています。しかしわが国は、世界に誇れる優れた技術力、高い信頼性、最高のサービスを提供できる基礎的な力を持っています。それらをグローバル社会に展開していくためには、従来の考え方を改めて、「システム思考×デザイン思考」の新しい思考能力と、「集合知」を活用したイノベティブなリーダーシップスタイルの適用が必要です。

慶應SDMは、こうした時代の流れに対応して、日本の良さを生かした能力開発に挑戦すべく、研究・教育活動を進めてまいります。毎年秋の恒例企画となった「プロジェクト・マネジャー能力強化研修」もこの方針で開催するものです。皆様のご参加をお待ちしております。

SDM研究科准教授 当麻哲哉

## 最近のニュース

### TOPIC 1 慶應SDM研究科説明会を実施

2013年8月3日(土) 午後、日吉キャンパス協生館において研究科説明会を開催した。約30名の参加者のうち、およそ三分の一が大学生、三分の二が社会経験者であり、社会人の方々の平均年齢が39歳と、これまでより高めとなっているのが今回の特徴である。

今回は三部構成で説明会を実施した。第1部では、教室にて研究科のコンセプトやカリキュラムの説明、教員紹介、Q&Aを行い、休憩をはさんで第2部では、参加者を3つのグループに分け、デザインプロジェクトの演習見学、実験室でのCAVEを使ったデモンストレーション、CDF教室での高精細大画面映像の視聴を順番に行った。

そして最後の第3部では、協生館6階教員室の廊下を使ってポスターセッションを実施し、研究を中心とした各ラボの活動内容を紹介した。各ポスターの前では、参加者らが教員や在學生と直接具体的な内容について議論したり相談したりする場となり、ご参加いただいた皆様に慶應SDMのありのままの姿をお見せすることで、十分に満足いただける説明会となった。

**TOPIC 2 慶應SDM × iTiDコンサルティング 『社員がいきいきと成果を出す企業・組織デザイン』セミナー**


ワークショップの様子



ワークショップの様子

2013年7月31日(水)にマネジメントデザインセンター主催による『社員がいきいきと成果を出す企業・組織デザイン』と題したセミナーを開催した。100名を超える参加者が集まり、熱気あふれるセミナーとなった。まず、慶應SDM 高野研一教授による「企業パフォーマンスと組織文化の関係」についての講演、次に、iTiDコンサルティングの星野雄一氏による「激動の時代に共に困難を乗り越える上司と部下の関係とは」という講演が行われた。その後、二部屋にわかれ、慶應SDMの富田欣和非常勤講師によ

る「成果を出す組織になるための組織理念共有ワークショップ」、iTiDコンサルティングの西村崇氏による「組織の中での対話法ワークショップ～ハイパフォーマンスの実践テクニック～」が行われた。iTiDコンサルティングとのコラボレーション企画は昨年10月に続き2度目。参加者アンケートの結果、参加者の満足度は高く、今後も続けてほしいとのコメントが多かったため、今後も続けていく予定である。

**TOPIC 3 白熱対談「公共哲学×システムデザイン・マネジメント東西世界観の統合」**


対談中の小林特別招聘教授と前野委員長

慶應SDMイノベティブデザインセンター主催による公開講座「東西世界観の統合」が、千葉大学小林正弥教授(慶應SDM特別招聘教授)と慶應SDM前野隆司教授により、2013年8月4日(日)に三田キャンパス第1校舎にて行われた。

この企画は元々6月9日に行われた第1回公開講座「公共哲学×システムデザイン・マネジメント 新しい世界の作り方・見え方」の好評につきシリーズ化されたもの。今年度、合計5回が行われる予定。第2回目の今回は、功利主義や自由主義とは異なり共同体主義的に古代

ギリシャ・ローマの哲学に立ち返ることで東西哲学が統合できる可能性について熱い議論が交わされた。今後の3回は、協創、幸福、平和をテーマに行われる予定。

## TOPIC 4 連続講座「宙のがっこう」を開催



しんかい6500との通信映像

ビジュアルシミュレーションラボ(小木哲朗 教授)、スマートシステムラボ(神武直彦准教授)では、一般社団法人Think the Earthと共同で、海洋研究開発機構(JAMSTEC)の

「しんかい 6500」とのライブ通信実験イベントを行った。2013年6月22日(土)には光ファイバをつなぎカリブ海の海底5000mを探索した「しんかい6500」からのライブ映像を、リアルタイム2D/3D変換を行い、協生館CDF教室で3D映像として体験する臨場感通信実験を行った。また2013年7月1日(月)には、探査を終えた直後のJAMSTECの高井研氏と母船「よこすか」上からライブ中継を行い、「宙のがっこうー深海編」のイベントを開催した。また出発前後の2013年5月25日(土)、2013年7月28日(日)にそれぞれトークイベントを開催し、全体として連続公開講座を構成した。探査のライブ通信では、研究者による海底探検の様子を仮想体験として共有することができ、またトークイベントでは研究者の生の声を聞くことができ、通信技術としての実験と共に科学コミュニケーションとしても有意義なイベントを行うことができた。これらのイベントの様子は、ニコニコチャンネルのSDMチャンネル(<http://ch.nicovideo.jp/keio-ogilab>)に公開している。

## TOPIC 5 博士1年杉本君がNEWS ZEROのZERO humanに登場



OpenPool (<http://openpool.cc>)

前野研究室博士1年の杉本雅明君が日本テレビNEWS ZEROのZERO humanのコーナーに「未来のキーパーソン」としてピックアップされた。杉本君は、「OpenPool」という、プロジェクトマッピング技術を活用したビリヤード台をオープンソースで作るプロジェク

トを立ち上げた。本企画は、コミュニティーベースの開発手法に関する研究の一環で、その社会実験の意味合いを含んでいる。具体的には、開発コミュニティを覗いてみたくなる→参加したくなる→主体的に活動したくなる、というプロセスの進化の解明を目指している。ZERO

humanでは、OpenPoolに仲間が次々と参加してビリヤード台が進化した点、米国の展示会「SXSW」で特に子どもたちから熱烈に支持を受けた点などが紹介された。

## ラボ・センター紹介

### ヒューマンシステムデザインラボ (Human System Design Laboratory)

<http://lab.sdm.keio.ac.jp/maenolab/index.htm>

担当教員: 前野隆司教授

ヒューマンシステムデザイン研究室(通称ヒューマンラボ)は、狭義には前野研究室を、広義には慶應SDM内外に公開するオープンなラボをさす。ラボ活動はオープンに行われており、前野研、白坂研、その他の学生、研究員、SDM外部の有志により行われている。ここでは狭義のヒューマンラボ(前野研究室)の紹介を行う。

前野研究室は、修士課程・博士課程学生と研究員あわせて約60名が「人間に関係する研究は何でも行う」をモットーに人間の認知心理やシステムデザインを中心とする様々な研究を行っている。研究テーマは幅広く、現在のテーマは、「幸福学に基づく社会システムのデザイン」「地域活性化モデルのデザイン」「コミュニティのデザイン」「ホテル・旅館の人格化による格付け研究」「産学連携ワークショップのデザイン」「イ

ノベータティブワークショップデザイン」「組織におけるボトムアップとトップダウンの統合シミュレーション」「ユニバーサルデザインとエスノグラフィ」「感動の研究」「天才性の研究」「人間成長モデルの研究」「経営のためのイノベータティブデザインワークショップの研究」「スポーツと多様性適応力の関係の研究」「フェイシャルマッサージの最適化研究」「触覚の定量化研究」「社会起業家の研究」「英語教育の研究」「欲求連鎖分析の応用研究」などが行われている。近年の多くのテーマは「協創」に関するものが多いが、それに限るものではない。いずれも、人類の平和と幸福に資する技術システム・社会システム・人間システムのデザインを志すものである。

見学・参加・ご意見、大歓迎です。お気軽にお問い合わせください。

### ビジュアル・シミュレーション・ラボ (Visual Simulation Laboratory (VS-Lab))

<http://lab.sdm.keio.ac.jp/ogi/lab.html>

担当教員: 小木哲朗教授、立山義祐助教、他

当研究室ではビジュアライゼーション、VR/AR、臨場感通信等の技術をベースに次世代の情報・通信・メディアシステムのデザインを研究テーマにしています。没入型ディスプレイ、テレマージョン、ビッグデータ分析等の基礎技術に関する研究から、ライフログデータの活用法、博物

館におけるデジタル技術の利用、コンテンツによる地域活性化等の応用分野まで、幅広い視点で研究を行っています。以下に幾つかの研究事例を紹介いたします。

#### テレマージョン

テレマージョンとは遠隔地間で臨場感の高いコミュニケーションを実現する技術で、CAVEやタイルドディスプレイを用いたコミュニケーション、人物像を仮想世界に合成するビデオアバタ技術の開発等を行っています。最近では国際宇宙ステーションに滞在中の星出飛行士との3D映像通信、海底5000mを探索中のしんかい6500との3D映像通信の実験を行いました。

#### デジタルミュージアム

デジタルミュージアムとは、VR(バーチャルリアリティ)やAR(拡張現実感)のデジタル技術を用いることで、博物館における魅力的な展示を行う方法です。例えば、空間型AR技術を用いることで、展示物にCG映像を融合し映像による解説を付加することができます。また作品とインタラクションを行うことが可能なデジタル3D浮世絵等のコンテンツの制作を行っています。

#### 没入型ドライビングシミュレータ

西村研究室と共同で、没入型ディスプレイCAVEを使用した自動車やバイクのドライビングシミュレータの開発を行っています。このシステムはリアリティの高いシミュレータを構成すると同時に、運転手の操作や安全確認行動をデータとして計測することができるため、高齢者ドライバーの安全運転力の計測、HUDを利用したナビゲーションシステムの開発等に活用しています。



星出宇宙飛行士との3D映像通信



没入型バイクシミュレータ



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属 SDM 研究所

〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1 慶應義塾大学 協生館  
Tel: 045-564-2518 Fax: 045-562-3502 E-mail: [sdm@info.keio.ac.jp](mailto:sdm@info.keio.ac.jp)

**SDM**  
System Design and Management